奈良文化財研究所　飛鳥資料館

令和５年６月１日

企画書

令和５年度秋期特別展「川原寺と祈りのかけら」

仏教文化が花開いた飛鳥時代、現在の明日香村大字川原の地に川原寺が創建されました。大官大寺・飛鳥寺・薬師寺とともに飛鳥の四大寺として栄えた川原寺は、発願の由緒や創建当時の記録が残らない、謎多き古代寺院として知られています。これまでの発掘調査では、広大な寺域や川原寺独自の伽藍配置が明らかになりました。さらに近隣の遺跡からは、火災後に埋納されたとされる大量の塑像断片や磚仏が発見されています。

本展覧会では、その多くが「かけら」の姿で発見された塑像や磚仏に焦点を当て、これまでの調査研究の成果を交えながら、大小さまざまな形の祈りのかけらをご紹介します。火災による焼損を受けながらも奇跡的に残った繊細な造形と美しい彩色の痕跡にぜひご注目ください。

会期　　令和５年10月６日（金）～12月10日（日）
会場　　独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館
主催　　独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館
特別協力（予定）明日香村・関西大学文学部考古学研究室
後援（予定）文化庁・近畿日本鉄道株式会社

開館時間　9:00～16:30（入館 16:00まで）
休館日　　毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
入館料　　一般350円、大学生200円、70歳以上・高校生および18歳未満無料
　　11月３日（金）は無料入館日

主な展示品
　川原寺裏山遺跡出土 方形三尊磚仏
　川原寺裏山遺跡出土 緑釉磚
　川原寺裏山遺跡出土 塑像断片
　塑像断片彩色の推定復元図

担当　濵村（飛鳥資料館学芸室）
電話　0744-54-3561
FAX　0744-54-3790
E-mail　hamamura-m6j@nich.go.jp

構成案

1.　プロローグ ～川原寺のはじまり～

常設展示中の川原寺復元模型や展示品と関連させながら、川原寺の創建や沿革についてパネルで解説。

２．発掘された祈りの「かけら」

〇川原寺裏山遺跡の発掘調査

川原寺裏山遺跡の発掘調査に関して、発掘に至った経緯や出土状況を解説。

〇発見された「かけら」たち

キャプション・パネル解説とともに、川原寺裏山遺跡の出土品を展示。

・川原寺裏山遺跡出土 方形三尊磚仏（飛鳥資料館保管資料・関西大学資料）

・川原寺裏山遺跡出土 緑釉磚（飛鳥資料館保管資料・関西大学資料）

・川原寺裏山遺跡出土 塑像断片（飛鳥資料館保管資料・関西大学資料）

・川原寺裏山遺跡出土 金銅製品（関西大学資料）

〇失われた色に迫る

火災により絵具が焼損・焼失した資料について、復元図の展示を通して塑像に描かれていた文様や彩色復元にかかわる研究を紹介。

・川原寺裏山遺跡出土塑像断片のうち、復元図に描かれた塑像（関西大学資料）および共通の彩色痕が残る小片（飛鳥資料館資料）

・塑像断片推定復元図（彩色図３点、白描図２点：奈良教育大学 大山教授 制作/所有）

・顔料、焼成した顔料の見本

３．エピローグ ～川原寺の軌跡～

展示内容のまとめ、現在の国指定史跡川原寺跡および出土品の展示施設に関しての情報を紹介。

・現地情報および出土品展示中の周辺施設（橿原考古学研究所附属博物館・明日香村埋蔵文化財展示室）へのアクセスマップ表示や配布を検討。

＊第一展示室の常設展示資料や模型等と結びつけた展示（キャプション・解説小パネルの設置など）を行う